

1. 特定

商標	: LEXAN™ 樹脂
製品名	: 500R-7G7B4341
製品コード	: 22204976
製品説明	: ポリカーボネート
外観	: ペレット
推奨用途	: 成形品又は押出品の製造もしくは、その他工業製品の構成材料として使用できます。 配合および加工を含むプラスチック製品の製造
使用上の制限	: 工業用のみ。
供給者	: SABICペトロケミカルズジャパン合同会社 〒100-0013 東京都千代田区霞ヶ関 3-2-6 東京倶楽部ビル ディング 電話: +81 335934780
SABIC 緊急連絡先	: Japan: +(81)-3-3593-4780
救急輸送 #	: CHEMTREC, U.S. : (800) 424-9300 海外から: +1 (703) 527-3887
電子メールアドレス	: sds.info@sabic.com
ウェブサイト	: http://www.sabic.com

2. 危険有害性の要約

GHSリマーク

本製品の添加剤は、熱可塑性樹脂マトリックスに結合されています。製品の危険有害性の分類は GHS に従い、熱可塑性樹脂中に含まれている個々の成分の物理化学的性状及び生物学的利用能により評価されます。UN GHS によると、動物実験や in vitro 試験で有害性が見られたとしても、その機序や作用様式がヒト健康に関連しない場合は分類が必要ないとされています。また、欧州 CLP 規制も、その機序がヒト健康に関連しない場合は分類が示されないことを述べています。以下に GHS 分類が示されている場合、その区分は熱可塑性樹脂マトリックス中の個々の成分に基づいて分類されています。本樹脂製品が通常の使用条件下では、危険有害性を有する成分が環境汚染及び職業ばく露を引き起こす可能性は非常に低いと思われます。安全データシートをよく読み、必要に応じ、EHS 専門家等の判断を仰ぎ、本製品の危険有害性を理解したうえ、ご使用ください。

化学品の GHS 分類

危険な物質や混合物ではありません。



GHS ラベル要素

危険な物質や混合物ではありません。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

SABIC緊急事態概観

無臭か僅かな臭いのペレット

こぼれたペレットですべる危険があります。

有毒な濃い煙を発生させながら燃焼することがあります

溶融したプラスチックで大火傷をすることがあります。

溶融時発生するガスは眼、皮膚や呼吸器を刺激します。過度の暴露は嘔吐、頭痛、悪寒や発熱を起こすことがあります。

切断や研磨や破砕のような二次加工により粉塵が発生し爆発や呼吸器に障害を起こすことがあります。

その他の情報

OSHA、IARCそして/または、NTPは、ある種の着色剤、充填剤中に存在するカーボン、二酸化チタン、結晶シリカ（石英）、呼吸により体内に吸引される様な微細なガラスおよび特定の重金属を発癌物質として挙げています。これらの材料がかなりの量でこの製品に存在している場合は、セクション2/3に記載されます。これらの材料は、実際はプラスチックマトリックス中に固定されており、推奨される加工条件の下では職場での暴露が問題となることはほとんどありません。

加工時の注意点

成形時の煙霧は眼、皮膚や気道を刺激する可能性があります。過度に暴露されると眩暈や頭痛が起こることがあります。換気ダクト、金型などの表面に付く成形時のガスが凝縮してグリース状になった物質は皮膚を刺激したり、損傷することがあります

悪化した健康状態

医療上の制限：この製品に接触して悪化するような健康への影響は知られていません。しかし、化学物質に敏感な人や呼吸器に障害のある人は成形時のガスに曝されると影響が出るかも知れません。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 ： 混合物

化学名又は一般名 ： 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
Glass	65997-17-3	>= 5 - < 10	
titanium dioxide pw6	13463-67-7	>= 1 - < 10	1-558, 5-5225

健康または環境に潜在的な危険性を有すると考えられる成分が、分類基準となる濃度以上含有する場合、上記に記載されています。範囲として表示されている濃度は、機密保持のためであるか、またはバッチのばらつきによるものです。危険ではない成分については企業秘密として扱われ、非開示とされています。製品は基本的に高分子量ポリマー

で構成されており、危険はないものとみなされます。また本製品の添加物はポリマーマトリックスに存在し、推奨される使用条件下においては危険とはみなされません。職業的暴露限界がある場合には、項目 8 に記載されています。

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 熱分解により、刺激性のガスと蒸気が発生することがある。
被災者を新鮮な空気のある場所へ移す。
医療処置を受ける。
- 吸入した場合 : 過熱や燃焼で発生した粉じんや煙霧を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に触れたら、直ちに多量の冷水で洗う。
直ちに石けんと多量の水で洗い流す。
医師に相談する。
皮膚の炎症が継続する場合は、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 無視できるか可能性のない暴露経路
間違えて飲み込んでしまった場合は、医師の指示を受ける。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
- 医師に対する特別な注意事項 : 情報無し。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : ドライケミカル、炭酸ガス、水スプレーや耐アルコール泡消火器を使うこと。水は最高の消火媒体です。二酸化炭素やドライケミカルは十分な冷却能力がないため再発火の恐れがありお勧めできません
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
- 特有の危険有害性 : 粉じんの生成を避ける。空気中に十分な量の微細粉じんが分散しており着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある。
材料は機械的な衝撃には敏感ではない。
- 有害燃焼副産物 : 火災により、一酸化炭素、炭化水素分解物等の有毒物質を含む黒煙が発生する。

ある種の有害成分が存在する場合、その成分は、ハロゲン化炭化水素類の放出を促す可能性がある。

有害燃焼生成物は知られていない。

- 特有の消火方法 : 静電気放電に対して予防処置手段をとること。
プロセス中に、爆発性の粉じん雲を形成することがある。
熱分解により、刺激性のガスと蒸気が発生することがある。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
発生源の風上に離れて留まる。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 静電気放電に対して予防処置手段をとること。
- 環境に対する注意事項 : 河川または下水システムに排水しない。
環境中に排出してはならない。
SABIC は、偶発的な環境への放出を防止し対処することを目的とした、ResponsibleCare®および世界規模の持続可能性プログラム（Alliance to End Plastic Waste（プラスチックごみ問題解決連盟）、Operation CleanSweep®など）のバリューチェーン全体にわたる実施に取り組んでいる。したがって、SABIC は、プラスチック材料の潜在的な（長期的な）悪影響から水生環境を保護するために、偶発的な放出を防止し対処するためのシステムと慣行の下流の利用者による実施を推奨する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 掃き集めて適切な廃棄用容器にすくい入れる。
ブラシや圧縮空気を使用することによって、粉末煙を発生させてはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
適切な排気設備と集じん装置を設置する。
粉じんの発生を避ける。
混合および処理装置のすべての金属部分は接地する必要がある。
換気の良い場所でのみ包装容器を開封すること。
- 接触回避 : 他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管



安全な保管条件 : 容器の栓をしっかりと閉め、乾燥した、涼しい場所で保管する。
熱や発火源から遠ざける。
残留モノマー蒸気が密閉容器のヘッドスペース内に蓄積することがあります。 .

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
Glass	65997-17-3	OEL-M (繊維状の)	1 繊維/ml	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (繊維状の)	1 繊維/ml	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (繊維状の)	1 繊維/ml	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (粒子)	5 mg/m3	SABIC OEL: 職業ばく露限界値
		TWA (繊維質ダスト)	1 f/cc	SABIC OEL: 職業ばく露限界値
		TWA (繊維状の)	1 本每立方センチメートル	ACGIH
		TWA (吸入濃度)	5 mg/m3	ACGIH
		TWA (繊維状の)	1 本每立方センチメートル	ACGIH
		TWA (繊維状の)	1 本每立方センチメートル	ACGIH
titanium dioxide pw6	13463-67-7	OEL-M	0.3 mg/m3 (チタン)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第 2 群 B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない。 または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。			

設備対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
機械設備には, 適切な換気装置を設置する。
成形時に発生したガスが凝縮した物質は、火災の原因になったり、有毒である可能性があるため、定期的に排気フード、ダクトやその他堆積が認められた表面から適当な防護具をつけて除去すること



保護具

呼吸用保護具 : 高温で処理する場合には、蒸気への暴露を避けるため適切な換気装置および / または制御技術を使用する。
切断や粉碎のような二次加工により粉塵が発生する場合は、防塵マスク等のの保護具を使用してください

通常、呼吸用保護具は必要ない。

手の保護具
材質

: 保護手袋を着用すること。

眼の保護具

: サイドシールド付き保護眼鏡
耐化学薬品性の保護眼鏡を必ず着用する。

皮膚及び身体の保護具

: 長袖の衣服

保護対策

: 適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : ペレット

色 : 灰色

臭い : 存在しない、またはわずかな量

臭いのしきい(閾)値 : 情報無し。

融点 / 範囲 : この製品ははっきりした融点を示さないが広い範囲の温度で徐々に軟らかくなります。

沸点 / 沸騰範囲 : 不定

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : 不定
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : 不定
値

引火点 : 非該当

分解温度 : 不定

pH : データなし

自然発火温度 : 630 ° C

粘度	
粘度 (粘性率)	: 非該当
動粘度 (動粘性率)	: 非該当
溶解度	
水溶性	: 不溶
溶媒に対する溶解性	: 不定
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 情報無し。
蒸気圧	: 無視できるほど僅か
密度及び／又は相対密度	
比重	: > 1; (水= 1)
密度	: 不定
相対ガス密度	: 不定
爆発特性	: 非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	: 推奨保管条件下では安定。
化学的安定性	: 通常の周囲室温および圧力では安定。 危険な重合は起こらない。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
避けるべき条件	: 熱分解を避けるため、過熱しない。 加熱すると危険なガスが発生することがある。 製品説明書にある推奨溶融温度を超えないようにしてください。プラスチックの熱い塊の自然発火や危険な分解を避けるため、ページは水中で速やかに急冷できるよう小さい、平らな形か細いストランドで集めてください。製品を長時間、高温でバレルの中に残してはいけません
混触危険物質	: 他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。
危険有害な分解生成物	: 危険有害な分解生成物は知られていない。
危険有害な分解生成物	: 推奨する加工条件下で発生する蒸気は微量の下記の物質を含有する可能性がある。 炭素、フェノール、アルキルフェノール、ジアリールカーボネート ある種の有害成分が存在する場合、その成分はハロゲン類、ハロゲン化水素酸類或いはハロゲン化炭化水素類の放出を促

す可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

急性毒性（経口）：備考: >5000 mg/kg（推定）

急性毒性（経皮）：備考: >2000 mg/kg（推定）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

成分:

Glass:

標的臓器：眼，気道，皮膚

titanium dioxide pw6:

標的臓器：肺

人体に対する暴露体験

製品:

吸入：備考: 物理的形状から経口摂取はあり得ません。

皮膚接触：備考: 通常想定される使用方法では有害ではありませんが、ガラス繊維や難燃剤が含有されている場合は、その様な化学物質に敏感な人では皮膚を刺激する可能性があります。

眼に入った場合：備考: 他の不活性物質と同様に、樹脂の粒子が目に入った場合は、目に物理的な刺激を与える

飲み込んだ場合：備考: 物理的形状から経口摂取はあり得ません。

詳細情報

製品:

備考：毒性データは類似組成の製品を参照したものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

データなし

残留性・分解性

データなし



生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 河川または下水システムに排水しない。
通常の使用では、生態学的損傷は知られていなく、または期待されません。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物は、リサイクルまたは処分の前に、分類シラベル付けをしなければならない。
空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用の方が好ましい。
SABIC は、偶発的な環境への放出を防止し対処することを目的とした、ResponsibleCare®および世界規模の持続可能性プログラム（Alliance to End Plastic Waste（プラスチックごみ問題解決連盟）、Operation CleanSweep®など）のバリューチェーン全体にわたる実施に取り組んでいる。したがって、SABIC は、プラスチック材料の潜在的な（長期的な）悪影響から水生環境を保護するために、偶発的な放出を防止し対処するためのシステムと慣行の下流の利用者による実施を推奨する。

汚染容器及び包装 : 可能ならば、廃棄や焼却処理より再利用の方が好ましい。
地方自治体の規則に従って、埋め立て或いは焼却処理すべきである。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当

容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当
国連分類 (Class) : 非該当
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当
容器等級 (Packing group) : 非該当
ラベル (Labels) : 非該当
梱包指示 (貨物機)
(Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当
梱包指示 (旅客機)
(Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 : 非該当
国連輸送名 : 非該当
国連分類 : 非該当
副次危険性 : 非該当
容器等級 : 非該当
ラベル : 非該当
EmS コード : 非該当
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

SABIC は原材料供給業者ならびに製造業者から得たデータに基づき、知り得る限りにおいて SDS の第 15 章で微量成分に関する情報を開示しております。原材料または製品中の上記微量成分含有の有無の定期的な分析は、当社の品質管理計画の一環として、また、SABIC 製品の製品仕様の一部として実施されるものではなく、したがって明示的あるいは黙示的な保証とはみなされないことをご了承ください。第 15 章に記載された化学物質の濃度が 0.1 % (w/w) 未満であります。ただし、第 3 章に当該物質がそれ以上の濃度で含有されることを示した場合を除きます。

また、外部から供給される原材料成分、或いは製造プロセス等で使用される成分に由来する極微量の不純物の含有を完全に除外するものではありません。最終製品が出荷先の国や地域の規制要件への適合性を確認することは、製造者または販売者の責任であります。本文書の記載内容は作成日時点で SABIC が入手できた情報に基づくものであります。

関連法規**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。



労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
酸化チタン（Ⅳ）	>=1 - <2.5	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

2023 年 3 月 31 日まで

2023 年 4 月 1 日から

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

水質汚濁防止法

有害物質（法第2条、施行令第2条、排出基準を定める省令第1条）

指定物質（法第2条4項、施行令第3条の3）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報：

TCSI(Taiwan) : インベントリーに従わない

TSCA(USA) : 全ての成分がTSCA インベントリーに記載されている

AIIIC(Australia) : インベントリーに従わない

DSL(Canada) : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

ENCS(Japan) : インベントリーに記載されている、または準拠している

KECI(Korea) : インベントリーに記載されている、または準拠している

PICCS(Philippines) : インベントリーに従わない

IECSC(China) : インベントリーに記載されている、または準拠している

NZIoC(New Zealand) : インベントリーに記載されている、または準拠している

REACH(European Union) : 欧州内での購入品は、No 1907/2006（REACH）に準拠するか、適用除外となります。該当しない場合は、サプライヤ/輸入業者にご連絡ください。

CH INV(Switzerland) : EU-REACH 条件を満たしている場合は適用除外となります。詳細な情報については、以下にご連絡ください：製造元、輸入者、サプライヤ

CCA/ARECS : 韓国で購入した場合は、K-REACH に準拠するか、または適用除外となります。該当しない場合は、サプライヤ/輸入業者にご連絡ください。

CICR(Türkiye) : 詳細な情報については、以下にご連絡ください：製造元、輸

入者、サプライヤ

16. その他の情報

詳細情報

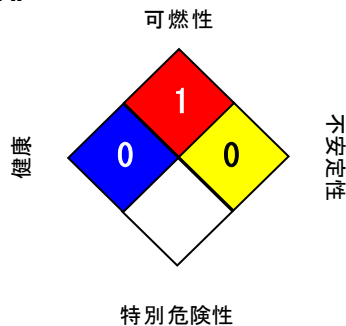
登録商標

: SABIC及びTMマークの付いた商品名は、SABIC又はその関連会社の登録商標である事を表します。

作成者

: プロダクトステewardシップ

NFPA:



HMIS III:

健康	0
可燃性	1
物理的な危険有害性	0

0 = 強くはない, 1 = わずかな,
2 = 中程度の, 3 = 高い
4 = 極度, * = 慢性

注意書き

本安全データシート (SDS) の情報は、購入者の国または地域の危険有害性情報伝達規則に基づき、その規則下で本情報の受け取りを義務付けられた使用者のために提供されています。本情報は、その他の法律の遵守を含め、他のいかなる使用、または他のいかなる人の使用を、意図ないしは推奨するものではありません。本 SDS は、当社が販売した当初のままの本製品にのみ有効かつ適用可能です。本 SDS は、サウジ基礎産業公社 (Saudi Basic Industries Corporation、以下 SABIC) またはその関連会社から直接入手したもの、あるいは SABIC ウェブサイトに掲載されたもの、または同サイトにて閲覧されたもの以外は無効です。当社からの特別な許可がない限り、本 SDS を修正することを固く禁じます。本 SDS は、発行の時点で信頼できるとされる情報に基づいて作成したのですが、新しい情報が入り次第、変更されることがあります。すべての使用条件を予測することは不可能なため、本製品の購入者および使用者は、以下についての決断に対して責任を負います: (i) 本素材の特別な使用条件下での本製品の安全で適切な取扱い; および (ii) 使用者の特別な使用に対する本製品の適合性。ここに記載された情報は、明示・黙示の別を問わず、商品性と特定目的への適合性を含め、いかなる表明または保証を構成したり生じさせたりするものではなく、当社の標準販売条件を変更するものでもありません。

NFPA/HMIS 免責条項

Reprinted with permission from NFPA 704-2001, Identification of the Hazards of Materials for Emergency Response Copyright ©1997, National Fire Protection Association, Quincy, MA 02269. This reprinted material is not the complete and official position of the National Fire Protection Association, on the referenced subject which is represented only by the standard in its entirety., Copyright ©2001, National Fire Protection Association, Quincy, MA 02269. This warning system is intended to be interpreted and applied only by properly trained individuals to identify fire, health and reactivity hazards of chemicals. The user is referred to certain

limited number of chemicals with recommended classifications in NFPA 49 and NFPA 325, which would be used as a guideline only. Whether the chemicals are classified by NFPA or not, anyone using the 704 systems to classify chemicals does so at their own risk. Caution: HMIS® ratings are based on a 0-4 rating scale, with 0 representing minimal hazards or risks, and 4 representing significant hazards or risks. Although HMIS® ratings are not required on MSDSs under 29 CFR 1910.1200, the preparer may choose to provide them. HMIS® ratings are to be used with a fully implemented HMIS® program. HMIS® is a registered mark of the National Paint & Coatings Association (NPCA). HMIS® materials may be purchased exclusively from J. J. Keller (800) 327-6868. The customer is responsible for determining the PPE code for this material.

JP / JA

安全データシートの終わり